

研究発表

学校名 横浜栄高等学校 P T A

研究テーマ 「栄がつなぐ地域との交流」

1 はじめに

この度、横浜南地区大会の発表校となり改めて「P T Aとは何か？」を考えさせられました。あらゆる答えがあり、正解がない中での研究は大変難しいものでした。

そこで南地区の各会長のお力を借りるためミーティングを開くこととなりました。その中で地域の高校がそれぞれの方向に進んでいくのではなく、南地区が一丸となって P T A を盛り上げていきたいとの意見になりました。

議題に上がったのは 2016 年相模原「やまゆり園」事件をきっかけに定められた「ともに生きる（かながわ憲章）」です。

横浜栄での「ともに生きる」とは何かを考えていきたいと思います。

2 学校紹介



本校は 2009 年に「県立港南台高校」と「県立上郷高校」が編成され設立しました。

多くの方のお力添えで今年 10 周年記念式典を開催する運びとなりました。

◆横浜栄の校章



横浜の Y の字を「成長する双葉」と「羽ばたく翼」で表し、栄の S の字は「支え合う生徒たち」を表現しています。

グリーンを基調とした校章の通り大変緑豊かな環境で、生徒たちは日々学業と部活に勤しんでいます。

3 P T A 活動

「本部役員」と「るりびい」

本校校歌に「瑠璃鶉（ルリビタキ）」という言葉が出来てきます。それが本校のマスコットキャラクターになっています。先生がぬいぐるみを本部役員がインスタ映えする看板を作成しました。



「生涯学習委員会」

父兄の親睦と教養を図る目的で講習会・講演会・キャンパスツアー・芸術鑑賞会を企画開催します。

「広報委員会」

年に2～3回の広報誌を作成することと、各行事に参加し生徒だけでなくPTAの活動を写真に収める。

「環境ふれあい委員会」

地域との交流・ふれあいを図る目的でボランティア活動を行っています。

花植えと校内の環境整備を年間通して行います。

文化祭では「サポーターズ」が「足ふきマット」を作成し、近隣の老人ホームへ差し上げました。



「上郷苑」に寄贈



◆サポーターズ制度

委員以外の全ての1年次生保護者（2・3年次は希望者）に、何らかの形でPTA活動に参加していただく登録制スタッフです。この活動は情報交換の場となり学校へ来ることによって、生徒の様子や学校の雰囲気などを直接感じることができます。

「行事支援委員会」

多くの学校行事に参加し体育祭では「ドリンク提供」球技大会では「豚汁作り」を行っています。また本校の目玉イベントである「三世代地域交流会」にも大きく貢献しています。

◆三世代地域交流会

本校の前身である上郷高校より引き継がれたイベントで、かつては「せせらぎ交流会」と呼ばれ35年間続いております。

祖父母世代、親世代、生徒の三世代が垣根を超え交流する会で、生徒だけでなく我々親世代も先輩方から多くを学べる会となっております。



【文科系】

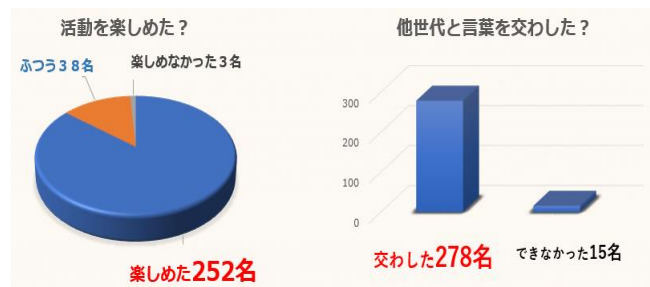
囲碁・将棋
歌を楽しむ
竹とんぼ作り
凧作り
折り紙



【スポーツ系】

テニス
卓球・太極拳
ペタンク
インディアカ
ゲートボール
グランドゴルフ
ソフトバレーボール

『生徒の感想』



生徒「シニアの人に教わっているうちに興味がわきあつという間に時間が経ちました。」
生徒「祖父母と住んでいないのでシニアの方と交流が持てて嬉しかったです。」

『シニアの感想』

Aさん「孫の世代との交流はとても楽しいです。
昨年も参加しましたが今年も若いエネルギーを頂き感謝しております。」

Bさん「年齢のことも忘れ夢中で楽しみました。
シニアも結構やるなって思ってもらえたらうれしいです。」

『PTAの感想』

Cさん「お手伝いのつもりが一緒にゲートボールを楽しみました。またやりたいです。」

Dさん「普段なかなか学校に足を運ばないので、子どもたちの様子が見られて良かったです。地域の皆さんと交流する企画は続けてほしいと思います。」

4 まとめ

時代は令和になりました。世の中のスピードは我々の想像をはるかに超えています。今の生徒たちはその中をたくましく生きていかなければなりません。それは正解のない社会です

私たち自身が「学び」「考え」「行動」し少しでも正しい道へ進む手助けをしなければなりません。横浜栄 PTA は私たち大人の学びの場としてこれからも進化し続けます。

最後になりますが、全国 PTA の益々の発展を祈願し横浜栄高等学校の発表とさせていただきます。

ありがとうございました。